



● 草の根協力支援型

2018年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	セルビア共和国
2. 事業名	セルビアベオグラード市コミュニティレベルにおける知的障害者の自立を支援する事業
3. 事業の背景と必要性	セルビア共和国の人口は約720万人（2013年）、2011年の調査では障害者数約57万人、うち就業者は約1万4千人（人口比0.2%）である。ベオグラード市（人口16万人）では、障害者2,500人、うち就業障害者は約200人（0.1%）のみである。法律では、経営者は、従業員25人に対し1人（4%）の障害者を雇用する義務を規定しているが、実際の雇用にはつながっていない。この背景には、就業場所において障害者を支援するトレーナーの不足や、障害者の教育・職業訓練を行う施設の不足から障害者の技能が低いこと等があげられる。しかし、セルビア国の財政状況から障害者福祉事業への予算が担保できず、障害者の社会進出を支援する施策が実施できていない。このような状況のなか、障害者福祉事業を担っているにはNGOであるが、彼らも運営・事業予算を確保することに労力が割かれ、職員の技能向上や施設利用者（障害者）の自立につながる活動や職業訓練等に対応できていない。
4. プロジェクト目標	ベオグラード市の対象知的障害者施設において、古紙再生活動を適用し、障害特性に応じた日中の適切な知的障害者活動プログラムが確立する。
5. 対象地域及び対象地域を管轄する大使館	対象地域：ベオグラード市Zvezdara地区 在セルビア日本国大使館
6. 本事業の対象となる人々	Nasa Kucaのスタッフ、ボランティア、施設利用者及びその家族 Child's Heart Serbiaの利用者及びスタッフ
7. 事業活動	<ol style="list-style-type: none"> 古紙再生活動を担当するすべてのスタッフが、同活動に必要な知識と技術を習得するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 訪日研修及び現地での技術指導の実施。 古紙再生作業マニュアルの作成。 スタッフが利用者の障害特性に応じ、効率的かつ合理的な支援ができるようになる。 <ul style="list-style-type: none"> スタッフによる各利用者の障害特性と作業配分に係る理解促進。 各利用者に適した作業環境に係る理解とその整備。 社会包摂を実現したコミュニティを目指し、ターゲットグループが古紙再生活動を通じた社会参加活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 訪日研修を通じ、地域との交流活動の方法を理解。 交流活動を実施。
8. 実施期間	2020年1月～2022年1月（2年0ヵ月）
9. 事業費概算額	10,992千円
10. 事業の実施体制	日本：いこま福祉会は、プロジェクト・マネージャーのほか、5名の専門家（社会参加、教育・研修計画・管理（2名）、古紙再生技術、業務調整）を現地に派遣するとともに、本邦で研修員を受け入れる。 現地：NGO「Nasa Kuca」、NGO「Child's Heart Serbia」 C/P Nasa Kucaは本事業責任者（障害者支援経験者）1名を長期雇用する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	社会福祉法人いこま福祉会
2. 活動内容	1973年設立以来、奈良県生駒市において、通所事業所4か所、グループホーム4か所、福祉ホーム1か所、生活支援センター1か所を運営。主な事業として、生活介護、就労継続支援B型、共同生活援助、居宅介護、行動援護、短期入所、異動支援、福祉ホーム、日中一時支援、地域生活支援拠点等の事業を実施。